

備前市事務事業評価表

事務事業名	日生最終処分場維持管理事業		コード	01-01-14-13
			担当課・係	市民福祉課 環境衛生係
			担当者	原田 尚美
事業実施期間	平成8年度～		電話	72-1104
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	ごみ処理		

事業について	
目的 (何のために)	一般廃棄物の焼却灰、残渣等を適正かつ円滑に処理する事により、生活環境の保全につなげる。
対象 (誰・何を対象に)	一般廃棄物の処理を必要とする、日生地域の市民・市内事業者。
内容	最終処分場の維持管理及び施設改修を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
埋立量	338.0 t	302.4 t	
埋容量	568.0 m ³	508.0 m ³	
残容量	9,039.0 m ³	8,531.0 m ³	
計画埋立量	15,554.0 m ³	15,554.0 m ³	
埋立進捗率	3.65 %	3.27 %	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	10,134	国庫補助金等		直接事業費	10,126	国庫補助金等				
	人件費	4,610	委託費負担		人件費	2,050	委託費負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	14,744	一般財源等	14,744	合計	12,176	一般財源等	12,176	合計	0	一般財源等	0

結果指標	結果指標名	埋立量	埋立量	
	結果指標量	568	508	
	単位	m ³	m ³	
結果指標	対前年比	—	89.44%	0.00%
	活動にかかるコスト	14,747,000 円	12,176,000 円	
	単位当たりコスト	25,963 円	23,969 円	

事業の成果				
どのような成果を得ようとしているか	焼却灰・焼却残渣の埋立処分をすることで生活環境の保全を図る。			
成果指標名	埋立量	式又は説明	ごみの減量化を促進し、毎年度埋立量を500立方メートルに抑え、施設の延命化を図る	
成果指標量	17年度	568	18年度	508
	対前年比	—	89.44%	0.00%
	到達目標値	500 m ³	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等：)	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	関係法令等に基づき適正な水処理及び埋立作業に努めており、当初計画と比較し、ごみの減量化により埋立残容量にも余裕がある。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	現在の最終処分場は平成8年に建設され、委託業者によって適正な水質管理、効率的な施設管理がされている。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> A	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 水処理施設管理業務・水質検査業務等の業務を委託している。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 508	
結果指標量	500	

総合評価	水処理施設は、薬品処理を行うため設備によっては、耐用年数よりも早く老朽化する傾向があり、設備の各所で不具合が生じている。計画的に補修するとともに抜本的な対策を検討する必要がある。	評価区分<A~E> B
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	施設の計画的な維持補修	毎年	施設維持管理費の削減
有効性	延命化の実施	毎年	快適な生活環境の維持